

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)9月
在リヨン領事事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
4. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

テロ行為に注意

フランス政府は、中東で勢力を拡大しているイスラム過激派組織「イスラム国」によるテロに対し、国内の警戒を強めている。アルジェリアで武装組織に拉致されたフランス人が殺害されたことを受け、公共の場や交通機関での警備を強化し、テロ行為に備えるための Vigipirate 対策(抗テロ警備強化対策)を強化することに決めている。「イスラム国」はアメリカやフランスなど空爆に加わる国の市民の殺害を呼び掛けており、イギリスやフランスなどでは特に「イスラム国」に参加した戦闘員が帰国後に国内でテロを起こす危険性が指摘されている。国内全体的に警備が強化されているので、交通機関や公共の場所に忘れ物荷物があるだけでも、万全のために警備体制が敷かれ、公共交通などが短時間ストップすることが頻繁に発生している。9月末から駅や空港などでもパトロールする警官の数が増え、パルデュージュショッピングセンターや美術館などの入り口などでも警備員が入場者の荷物検査をするなど警備が強化されている。また県警察では、不審な荷物や、行動をとっている個人やグループなどを目撃などした場合には、すぐに通報するように市民に呼びかけている。

《Stop cambriolages》「STOP 空き巣」スマホの新アプリ

憲兵隊が管理しているスマートフォン用のアプリ「STOP 空き巣」は、昨年は試験期間としてエロー県でテスト利用された後、本年4月に法的に有効となった。その後、国内では10の県が使用を始め、リヨン近辺では現在アン県が使用しているとのこと。このアプリは個人や企業などを対象に、空き巣の被害を防ぐための忠告助言などを案内、また被害に遭ってしまった場合に届け出る最寄りの警察の場所をGPSで位置を知らせたりする。また地域で連続して発生している、商店や農家などの盗難・空き巣事件に関しての警告メッセージの送信などが自動的にされ、地域の住民に対して注意喚起をして、住民と憲兵隊警察と一般市民との絆をより一層強くし、目撃者や証言を集めて被害の予防や捜査のために役立つように考えられているとの事。ローヌ県の憲兵隊も使用を始めるとの事なので、詳細は以下のサイトを参照。<https://fr-fr.facebook.com/notes/gendarmerie-du-rh%C3%B4ne/application-stop-cambriolages/778634298861044>

自転車の運転に注意

環境に優しい街中の交通手段として、フランス国内で初めて設置された公共レンタル自転車 Vélo'vをはじめ、リヨン市内の自転車人口がますます増え、市内外での道路にもサイクルロードがあちらこちらに設置されはじめています。しかしながら、自動車や歩行者との道路の共有には様々な危険が伴っているため、ヘルメット着用や夜間でも目立つライトなどをつけることが重要。また、市内のサイクルロード設備でも改善の余地がみられる場所があるため、気を付けたい。Croix-Rousse のバス/自転車/歩行者専用トンネルでは、トンネル内の照明が十分ではなく、標識も明確でない、また、自転車がスピードを出しすぎて衝突事故などが発生したために、時速25キロを守るように促す速度レーダーも設置された。また、Confluence 地区と Gerland 地区を結ぶ Raymond Barre 橋においても、歩行者道と自転車道を隔てる金属製設置物が、自転車で乗り越えようと接触したりすると滑ったりして非常に危険なために、リヨン地域圏では設備の改善を予定しているとのこと。その他にも Mulatière 橋や Choulan 坂、ローヌ河沿いの歩行者/自転車道などについても、現在改善策が検討されている。

2. 邦人の被害事例

9月中旬、在留邦人の男性が、リヨン市第7区の友人宅で食事会があり飲酒したあと歩いて帰宅していたところ、突然何者かに襲われて蹴るなどの暴行をうけたため、気づいた時には救急車で運ばれた病院にいたとのこと。顔部分などにひどい打撲傷を受けた。貴重品などを奪われていたが、後日工事現場に旅券のみ捨てられているのが見つかり、本人に届けられたとのこと。

3. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より抜粋）

① 窃盗犯罪事件

9月2日午前2時半頃、Dardilly 市内のたばこ販売店に空き巣が侵入した。犯人達は街灯が消えるこの時間帯を狙って、店の鉄製カーテンをこじ開けて侵入したらしく、アラームが鳴って警察が駆けつけた時には、犯人はすでに12000€相当の煙草を盗んで車で逃亡していた。このたばこ販売店は、8月初めにも空き巣に入られている。

9月3日日中、リヨン市第3区 Monchat 地区にある建物内に見かけない未成年少女数人がいるとの通報が、住民から警察にあったため、警察は現場に駆けつけ、ドライバーなどを使ってアパート内に侵入して物品を盗み出していた13歳から15歳の少女達を逮捕した。クロアチア人のこの少女達の中には、すでに同じ罪で指紋などが警察の記録に登録されていた者もいた。

9月3日午後、リヨン市第6区 Maréchal Foch 通りと Franklin Roosevelt 通りの辺りを走っていたバスの中で、80歳代の男性の財布から現金を盗み取っていた17歳の少年が逮捕された。

9月3日夜、リヨン市第5区 Frère Benoît 通りで、駐車してあった車二台 Twingo と Peugeot 205 を盗もうとしていた16歳と17歳の少年2人が逮捕された。

9月4日午前4時半頃、Chass sur Rhône 市内にある輸送会社の駐車場に停めてあった、ワインや家電製品など大型スーパー向けの商品を積載していた貨物車が突然姿を消した。会社からの通報後地域の警察が捜索したところ、午前7時頃に、中身の消えた貨物車両が付近の道路に乗り捨てられてあるのが発見された。

9月5日夜、リヨン市第7区でカバンを盗もうとして女性を地面に殴り倒し、足で蹴っていた男が警察に逮捕された。この23歳の男は警察官にも殴り掛かり、精神病院に入院させられた。

9月7日午前1時頃、リヨン市第2区 Charlemagne 通りと Suchet 通りの角で、4人組の若者たちが21歳の男性に襲い掛かり、殴る蹴るの暴行をして男性のリュックサックを盗んでいった。

6月7日夜、リヨン市第6区地下鉄 Brotteaux 駅で、乗客の若い女性のリュックサックの中から貴重品を盗もうとしていた17歳と25歳の男2人組が、現行犯で交通警察に逮捕された。

9月8日午前4時頃、Vaux en Velin 市 Les Sept Chemins ショッピングセンター内の宝石店で防犯アラームが鳴った。ショッピングセンターの屋根に上り、屋根と天井を破壊して宝石店内に侵入した犯人達は、ショーケース内にあった数万ユーロ相当の宝石を奪って逃亡したとのこと。

9月9日午後1時半頃、リヨン市第7区 Camille Roy 通りに在住の高齢の女性が、建物の入口ホールでいきなり何者かから暴力的に押し倒され、持っていたカバンを盗まれた。警察の話によると、女性はこの犯人に外から後をつけられてきた可能性が高いとのこと。

9月10日早朝 Villeurbanne 市 Bienvenus 通りにある自動車修理工場の駐車場に何者かが侵入し、修理のために停めてあった救急車を盗み出そうとし、救急車のエンジンをスタートさせてそのまま閉まっている門扉に衝突して破壊し外に出た。ところが、外に停めてあった車数台にも衝突して身動きがとれなくなったため、救急車をそのまま乗り捨てて逃走した。計画的犯行ではなく、救急車はサイレンがあるために、窃盗などの逃亡の際に良いと思って突発的に盗み出そうとしたのではないかと見られている。

9月10日、リヨン市第7区で3人のアルバニア人の若者が逮捕された。この16歳から19歳の若者達は、去る9月7日にアン県 Bourg-en-Bresse 市で一軒家に強盗に入って盗んだ車を、この日リヨ市内第7区の広場で売り捌こうとしていたところ、パトロールしていた警察がこの車のナンバーが盗難車のものだという事を見つけて尋問したために逮捕となった。

9月10日午後1時半ごろ、Villeurbanne 市 Galilée 通りで54歳の女性の女性がつけていたネックレスを奪った22歳のホームレス男が逮捕され、同日午後3時20分頃には、同市 Emile Zola 通りを歩いていた52歳の女性が首に着けていたネックレスを引きちぎって奪った別の16歳少年が逮捕された。

9月16日午前2時近く、リヨン市第3区 Trarieux 通りにある一軒家に泥棒が侵入した。家と繋がるプールのガラスドアをこじ開けたために防犯アラームが鳴り、駆けつけた警察が逃げようとした犯人の17歳の少年を逮捕した。この犯人は空き巣などの前科のある少年だった。

9月16日午後6時前、リヨン市第3区 Pierret Corneille 通りにある消防署の更衣室に侵入して、ロッカー内にある貴重品を盗もうとしていた17歳の少年が逮捕された。

9月17日午後、リヨン市第2区 Remparts-d'Ainay 通りで21歳の女性に襲い掛かってカバンを盗もうとした13歳の少年が逮捕された。

9月18日午前4時近く、リヨン市第3区 Vilette 大通りで14歳と15歳の少年3人組が逮捕された。Vaux en Velin 市と Vénissieux 市在住の3人組は、リヨ市内在住の45歳の男性に暴行して携帯電話を奪い取った疑いがかかっている。

9月18日午前中、リヨン市第3区 Trarieux 通りで、アパート数件に空き巣にはいていたグルジア人2人組の車が、道路に設置された街中監視カメラの映像で発見され、至急パトロール警官を送り込んでの2人の犯人逮捕となった。

9月20日、Bron市でバスに乗っていた25歳の女性の首からネックレスを引ちぎり盗んだ17歳の少年が逮捕された。少年は盗んだネックレスを靴下の中に隠しており、この他にも数日前に Pagère 通りにあるブリッジクラブから出てきた女性を襲いネックレスを盗んだ容疑がかかっている。

9月22日午前10時頃、リヨン市第3区 Duguesclin 通り在住の老女宅に、水道の修理の為に来た偽水道局職員が訪れた。その職員が出て行ったあとに2人連れの偽警察官が訪れて、先ほど訪れた水道局職員は泥棒だったために被害を確認したいと告げた。老女は話を信用してアパート内に2人の警察官を入れて貴重品の在処などをみせたが、1人の偽警察官が老婦の気を引いているうちに、もう1人がそれらの貴重品を奪って逃げて行ったとのこと。現在調査中。

9月23日朝、銀行に現金を振り込みに行くためにリヨン市第9区 Hector-Berlioz 通りを歩いていた自営商店主女性が、帽子とマフラーで顔を隠した男にいきなり襲われて、現金の入っていたカバンを奪い取られた。男はそのまま逃走したが、店主女性の習慣や行動を良く知ったの犯行だと見られている。

9月28日午後10時頃、リヨン市第6区 Emeraudes 通りを歩いていた21歳の若い女性が、いきなり若い男に襲われ、持っていたカバンを奪い取られた。この男はそのすぐ後に警察に逮捕されて身柄拘束となった。

9月29日午後10時頃、リヨン市第1区 Sathonay 広場で、25歳の男性が2人組の若者から殴ると脅迫されて、現金や小切手帳、煙草まで巻き上げられた。その数分後にこの17歳と21歳の2人組は警察に逮捕され身柄拘束となった。

② 粗暴犯罪事件

9月1日午後5時頃、リヨン市第3区 Albert Thomas 通り在住の60歳代の女性が、アパート建物前で若い男から暴行を受け、鼻の骨などを折る怪我を負った。女性は近所へ買い物にでかけ、その帰りに銀行のATM機で20€を引き出して自宅に帰る途中で、引き出す時に後ろにこの男がいることには気づいていたものの、比較的きちんとした身なりをしていたために、特に用心しなかったとのこと。建物の門扉のところ、突然男が背中を蹴ったために、この女性は地面に倒れ、男は女性の髪の毛を掴んで顔を地面に叩きつけたとの事。男は女性の銀行カードと現金を奪って逃亡したため、警察が調査を進めている。

9月2日夜、リヨン市第1区 République 通りを歩いていた若い男女が、路上でたむろして通行人を妨害していた若者3人に向かって忠告したところ、それを恨みに思った3人は男女の後をつけ、地下鉄 Hôtel de ville 駅構内に入ったところで男性につかみ掛かり、殴る蹴るの暴力を振るって地面に倒した。その後逃亡した3人のうち、Terreaux 広場で19歳と20歳の男2人が警察に逮捕された。

9月3日午後7時頃、Villeurbanne市 Tolstoï 通りで、自転車に乗った男が走っていた車に衝突したため、車を運転していた68歳の女性が車を降りて様子を見にいったところ、この自転車の男は

女性に殴り掛かって全治5日の怪我を負わせた。警察にとめられたこの男は、強く酒気を帯びていたとのこと。

9月8日、リヨン市第3区の Edouard Herriot 病院の緊急病棟に診察のために訪れた35歳の男が、待ち時間が長すぎると発狂し、その場に居合わせた看護師や消防士に物を投げたり殴り掛かったり、また殺すと脅迫したりして暴れた。この男は駆けつけた警察に抑えられ、すぐに身柄拘束となった。

9月9日午後、リヨン市第1区で、25歳の妻を殴っている26歳の男を止めようとして仲裁に入ろうとした46歳の女性が、男から激しく暴力を受けて、全治45日の大怪我を負った。

9月15日正午頃、リヨン市第5区にある郵便局で現金を引き出した90歳の老女を、何者かが後をつけて後ろから頭をなぐって暴行し、老女の持っていたカバンを奪って逃走したとのこと。老女は病院に運ばれ、現在警察が取り調べている。

9月18日朝、リヨン市第8区在住の38歳の女が、自分の子供達への暴行罪の疑いで逮捕された。この女は、自分の7歳と11歳の子供二人を自宅において頻繁に電気線などで殴りつけ、熱した刃物を子供の肌に当てて全治10日の火傷などをさせた疑いがかかっている。

9月20日午後8時頃、リヨン市第1区 Comédie 広場にあるレストランで、17歳と18歳の若者2人がレストランの経営者を殺すと脅迫し、店に火をつけると騒いだため、店が警察に通報し、この2人はすぐに身柄拘束となった。

9月20日午後6時頃、リヨン市第5区 Romain Rolland 通りを歩いていた男女2人組が、いきなり向かってきた男に理由もなく殴られた。その直後に逃走していたこの37歳の男は逮捕時に抵抗したが、ポケットの中に、コカインの包を4袋と大麻樹脂を19グラム所持していた。

9月22日午後7時頃、リヨン市第2区 Charlemagne 通りで喧嘩騒ぎがあったため通報を受けた警察が駆けつけたところ、18歳の女が攻撃的に刃物を持って男性に襲い掛かっており、止めようとした警察官達に向かって暴言を吐き、1人の警察官をひっぱたき、他の警察官に向かって唾を吐きかけたとのことで、この女はそのまま身柄拘束となった。

9月24日午後7時頃、リヨン市第9区で行われていた交通車両検問で、警察官を罵って指示に従わずに逃走しようとし、車を取り押さえようとした警察官を引きずって全治21日間の怪我を負わせた若者2人組が逮捕された。この19歳と20歳の2人組の自宅からは、大麻樹脂などが押収された。

9月25日午後、Caluire 市でテーザー銃を使って15歳の少年を脅し、携帯電話を盗んでいた19歳の男が逮捕された。

9月26日午前3時頃、リヨン市第1区 Comédie 広場で、3人連れの若い女性が6人の未成年を含む男9人組グループから暴行を受けた。1人の女性が男に体を触られ、もう1人の女性は顔を殴られ全治5日の傷を負った。暴行をした2人の男はすぐに警察に身柄拘束となった。

③ 凶悪犯罪事件

9月7日午前6時頃、Villeurbanne 市 Pierre Baratin 通りのパン屋の裏で放火事件が発生した。

夫婦間で離婚の争いのあったパン屋の妻が、夫に腹いせするためにバーベキューの発火物を使って建物裏に駐車していたライトバンに火をつけ、車と建物の壁などが燃焼破損した。この妻は自分の行為を後悔しているとの事だが、危険な行為なため、判事は執行猶予付一年の有罪とした。

9月10日、Saint-Priest市のトゥモロコシ畑で火事があり、消火のために消防隊が駆けつけたが、そこにあった炎上ジープ車のトランクの中から、翌日死体が発見された。この遺体には銃痕が2か所見られるため、警察では何かの殺人事件と見て詳細を取り調べている。

9月13日午前7時40分頃、Quincieux市中心地にあるたばこ販売店に、覆面をして銃を持った強盗が押し入り、レジにあった現金やたばこなどを奪って白いライトバンに乗って逃亡した。そして、9月14日午後2時15分頃には、Genay市Trévoux通りにあるガソリンスタンドに刃物を持った2人組の強盗が押し入り、職員を脅迫して約40€を奪って逃走したとのこと。Genay市では、11日にもたばこ販売店に帽子をかぶり刃物を持った強盗が入り、1000€を奪って逃走したとのことで、これらの事件に関連性があるかどうかを警察では調べている。

9月16日午前5時半頃、リヨン市第8区にあるPMUバーに覆面をして武器を持った2人組の男が押し入り脅迫して、金庫の中にあった現金を奪って逃亡した。

9月18日午前11時半頃、Rillieux-la-Pape市のアンティーク店を経営する家族の一軒家に、配達人を装った2人組の強盗が押し入り、中にいた女性3名を縛り付けて屋内にあった現金や貴重品などを奪って逃走したとのこと。被害額は明らかにされていないが、過去2か月間にも同様の一軒家強盗事件が日中に起こっている。

9月26日午後4時頃、リヨン市第8区Paul Santy通りのたばこ販売店に、覆面をして銃を持った男が侵入し、脅迫して現金を奪い取りそのまま逃走した。警察が取り調中。

④ 知能犯罪事件

9月15日に、3年前から調査を進めていたリヨン社会保険庁が、病人の移送などで割増料金を不正に社会保険庁に請求して、約370 000€を受け取っている個人経営タクシー会社がいることが判明したため、今回この経営者が警察に逮捕された。この33歳の男は、クレルモンフェランの病人をパリへ移送し、その料金を上まし料金で2200€の請求をしたり、実際には行っていない移送行為の請求書を50件以上も作成したりして、社会保険庁に支払い請求などをしていた。

9月29日に、過去4年間にわたり偽小切手を作成して組織的に詐欺活動をしていたリヨン市在住の28歳の男が逮捕された。警察が2年間にわたって調査を続けたところ、この男は質の良い偽小切手帳を印刷作成する器材を揃えており、2・3人の仲介人を通じて80人にも及ぶ人を雇い、その雇人達の名義の偽小切手を作成して渡し、同時に雇人達には警察に身分証明書の盗難・紛失届を出させて、容疑が明るみになるのを遅らせるような指示を出していた。この方法でタブレットなどのマルチメディア商品を大型スーパーなどで大量に買わせて、それを売り捌いて現金を入手し、約177 000€相当の現金を懐に入れていたとのこと。

⑤ その他

9月第一週目に、ローヌ県北部のBois d'Oingt市近郊の中学などで大麻や覚醒剤を密売していた男が逮捕された。昨年この地域で起こった若者たちの騒動に駆けつけた警察が、未成年の若者たちが大麻などを摂取していることを知ったため捜査をすすめていた。未成年の若者達は、中学校内の中庭やトイレで同中学の学生から購入していたため、4人の中学生たちが事情聴取を受け、彼らの証言からLozanne市出身の20歳の男の身元が判明した。昨年一度逮捕された際には、証拠がなく釈

放されていたが、今回は現行犯で逮捕された。調査によると過去2年間で100 000€相当を稼いでいたとの事で、執行猶予つき2年、罰金10 000€の有罪となった。

9月15日頃、リヨン市第3区内で行われていた交通検問で、29歳から32歳の男3人組が交通規則違反のために警察に尋問された。その際1人の身分証明書が偽造書類で、車内にも偽造書類作成のための器材があったために家宅捜索が行われ、多くの偽造身分証明書や作成するための器材などが押収された。

9月22日午前中、A7高速道路南下方向Vienne料金所で、スペインのナンバープレートを付けたウクライナ人女性が運転する車と、それに続くアルゼンチン人男が運転するライトバンが税関職員に尋問を受けた。ラトビア産でスペインまで配達するお菓子の配達通知書を所持していたが、税関職員が荷物を検査すると、車の中からはお菓子の後ろに偽煙草が50万本発見された。46歳と48歳の2人の運転手は、すぐに身柄拘束となり後日6ヶ月の禁固刑となった。

9月中に、Villeurbanne市内で、ヘロイン密売組織のアルバニア人が3人警察に逮捕された。警察では以前からこのアルバニア人組織を追跡していたが、いずれも、ヘロインを所持しており、家宅調査では大量のヘロインが押収された。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

9月16日早朝、リヨン市郊外のMeyzieu市で、フランス国家警察介入部隊がテロ組織と関連のある疑いをもつ男が運転しているライトバンを止めて、その男を拘束。その一時間後には少し離れた地域Monge通りにある一軒家にも国家警察介入部隊が乗り込んだとのこと。これは、内務省の反テロ作戦の一環での捜査とのこと、リヨン地域在住の4人(2人の未成年兄妹を含む)を含む19人が逮捕された。逮捕された19人の身元は公表されていないが、2年前にもこの同一軒家に在住していた若者がテロ組織と関係のある容疑で逮捕されているとのこと。パリ検事局はこの件に関して詳細を公表しないらしいが、今後も同様の警察介入が続くらしい。18日には、先述の4人とも関係があり、危険人物として手配され銃器を携帯していた19歳の男が逮捕された。いずれも過去数か月間にシリアなどへ出発した若者達と密接な関係があるとのこと。フランス政府によると、国内にはシリアでのジハード聖戦のために若者(少女を含む)を送り込む組織が存在し、63名の女性を含む約350人のフランス人がシリアやイラクに入り込み、全体で約930人の若者がテロ活動のために現地へ向かっているとのこと。

4. 今月の出来事

リヨン Saint Exupéry 空港の駐車場がネット予約できるようになる。

リヨン Saint Exupéry 空港では、P1を除く空港の駐車場を、ネットであらかじめ予約できるサービスを始めた。このシステムを利用すると、事前に割引料金で予約でき、確実に駐車場を確保することが出来るため、時間の節約にもなる。<https://store.lyonaeroports.com/>